

2021年度  
コロナ禍でのボランティア活動に  
ついてのアンケート結果報告



公益財団法人

コープともしびボランティア振興財団

(公財)コープともしびボランティア振興財団では、昨年の新型コロナウイルス感染症拡大から1年を経て、助成するボランティアグループの活動状況の把握や、今後の活動の発展に向けた支援を検討するため、2021年度の助成先(148グループ)にアンケートを実施しました。

## 1. アンケート結果から

2020年度のアンケートでは活動グループの80%が「イベント、定例会を中止」し、53%が「メンバーの話し合いを含め、活動をすべて中止している」と答えていましたが、2021年度はグループの73%が内容を変更し、そのうち67%が進め方や手段を工夫、柔軟に対応しながら活動を継続していることがわかりました。

また、他のグループからコロナ禍でも活動を継続させるための手がかりを得たい、財団からは後押しとなる資金面での支援や研修・講座など学びの場の設定を期待したいなどの声が寄せられました。

アンケートの結果を踏まえ、2022年度のボランティア活動助成に向け、助成金の運用をさらに弾力的に変更することや新たな枠づくりを検討し、引き続き支援して参ります。また、研修・講座についても、随時企画、案内して参ります。

## 2. アンケートの概要

《調査の目的》

1. 兵庫県内のボランティア活動状況の把握
2. ボランティア活動の発展に向けた支援への要望

＜対象＞

(公財)コープともしびボランティア振興財団から、2021年度助成を受けている  
148グループ

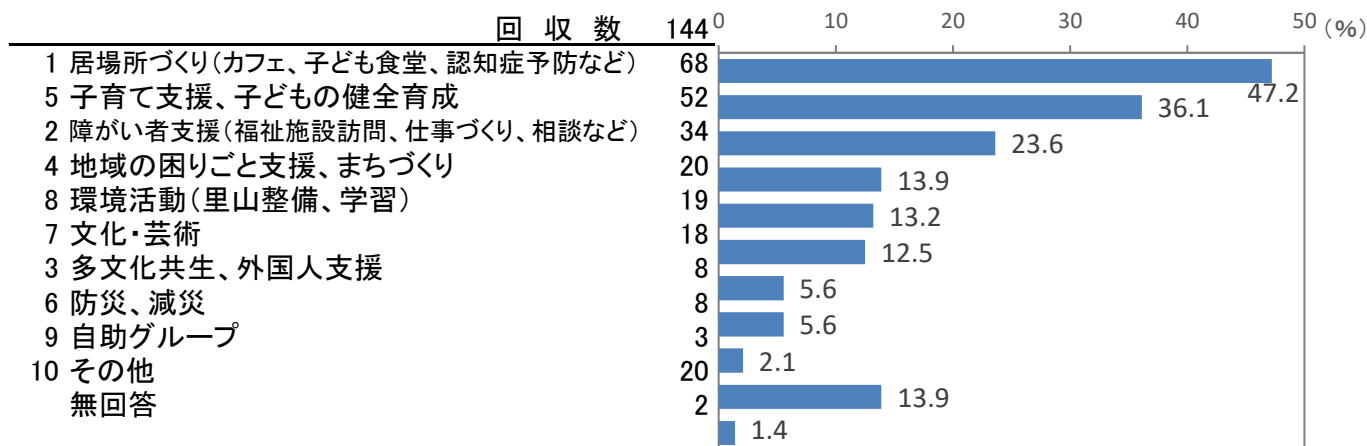
＜期間・回収方法＞

2021年4月末～5月初旬・郵送による送付、回収

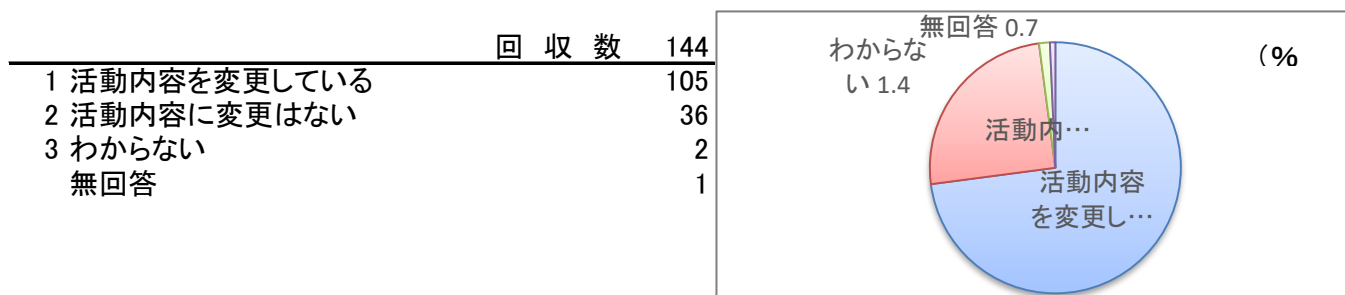
＜アンケートの回収率＞

148団体中144団体(回収率 97.3%)

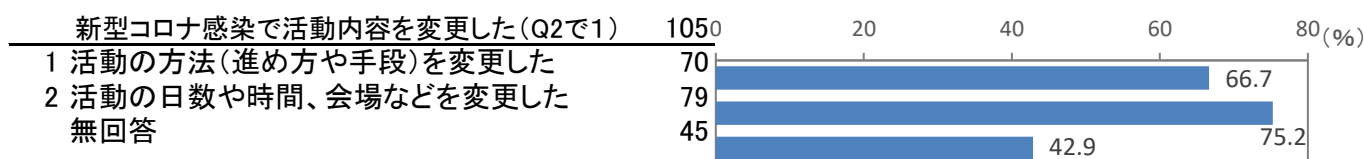
### Q1 グループの活動内容(複数回答)



### Q2 新型コロナ感染による活動内容の変更(単一回答)

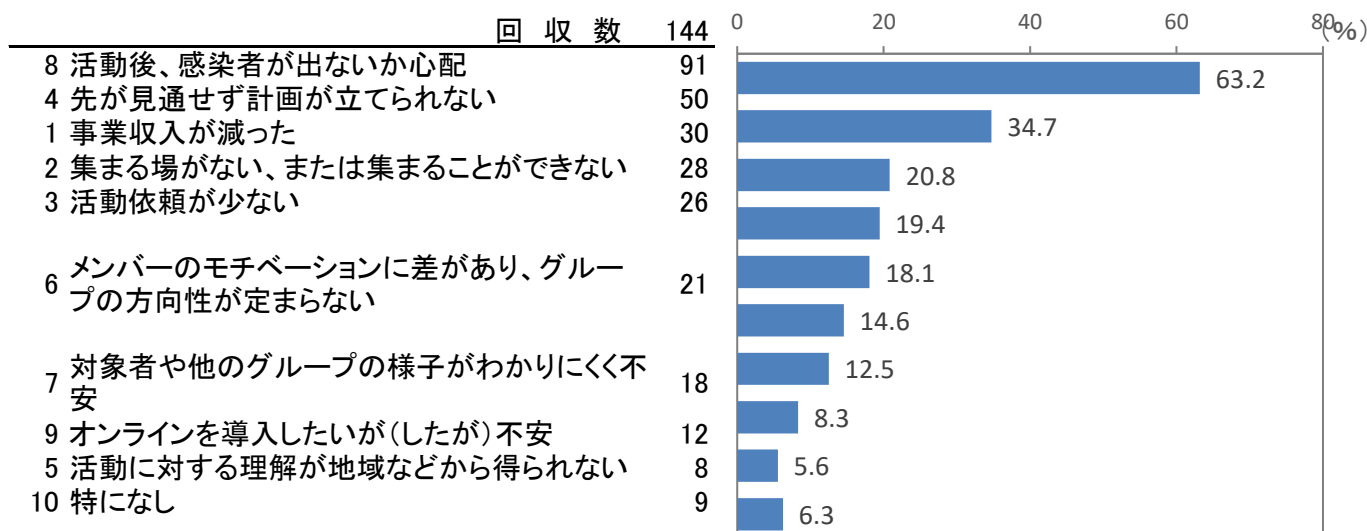


### Q3 活動内容をどのように変更したか(複数回答)



Q4、Q5は自由記入のため次ページ以降に記載しています

### Q6 コロナ禍で運営上困っていること(複数回答)



## Q4 どのように活動内容を変更し、工夫されましたか

活動内容	自由回答
居場所づくり	・今までお茶タイムで雑談等していたが、中止し、歌も中止。・時間を90分から60分に短くした。・参加人数を制限、使用する部屋が定員15名と定められたので、事前申込制にした。・入口でマスク着用、アルコール消毒、健康チェックをしている。・緊急事態宣言が出され、中止した。・メンバーのミーティングは毎月ライングループを作って開いた。
居場所づくり	喫茶本来の飲食は不可のため、地域の方の居場所として継続活動するために、健康体操や教え合い活動等を中心に90分開催に変更。また、参加者が密にならないように人気のイベントについては事前の整理券をお渡ししたりの工夫をしている。
居場所づくり	コロナ感染予防策：除菌、検温、テーブル・椅子の配置、時間短縮、人数制限、二部制で予約制。
居場所づくり	1回の人数を6名に限定して同じ内容を2回行なって、事前予約制とした。常に入口2カ所を開け、換気扇をまわし、途中で大きく開いて空気の入替えをした。暖房はしたがやはり寒いのでコートを着たまま活動する日もあった。
居場所づくり	体温の報告、手のアルコール消毒、椅子・テーブル使用後アルコール消毒、食事をお弁当に変更、1卓に1～2名、マスク着用、ゲーム時椅子の間隔を広げる、換気。
居場所づくり	私たちは全員ふれあい喫茶のグループですが、飲食ができないので、私たちのことを忘れないよう無料で折り紙の教え合いをしている。
居場所づくり	ふれあい給食(会食)を月2回昼食で開催していたが、お弁当のテイクアウトと配達に変更した。昼食だけでなく夕食でも食べてもらえるように変更した。交流会も大人数ではなくても楽しめるビンゴゲームを考えたり、屋外イベントにもチャレンジしてみた。
居場所づくり	「密」になる1階ロビーから2階大ホールに場所を移動。毎月7日開催でしたが、ホールの使用のない日に活動している。飲食がなくてもボランティアサークルの方々の演奏などのご出演のおかげで再開できて非常にありがたい。
居場所づくり	ご一緒ランチができなかったので、お弁当にて販売することにした。
居場所づくり	夕食会から昼食会への時間変更(お弁当配布)
居場所づくり	会場内の密を避けるため広い会場に変更した(ミュージックナイト)。同じく、同じ会場を使うため定員を少なくした。感染予防のビニールシートを設置したり、フェイスシールドを使ったり、1回の時間を2時間から1時間半に変更したりした。木曜・金曜のカフェは休止している(神戸市からの自粛要請のため)。
居場所づくり	1. 方法の変更(というより変化・進化)は、今後の方向性の1つとしてリモートによるカフェ・コンサートの試行をした。2. 活動は緊急事態宣言中は休止をしたこと。またその他の期間でも、できるだけ早めに終了するよう呼びかけた(時間短縮の努力をした)
居場所づくり	1. 時間短縮(1時間半→1時間) 2. お茶をペットボトルに変更 3. おやつを中止…会費の値下げ(300円→200円) 4. 行事内容を中止：磁石数字盤使用を中止(消毒が大変)、季節の行事の中止(花見・七夕・運動会・クリスマス会) 5. 体温測定・手指消毒の励行 6. 机・椅子の消毒の励行
居場所づくり	・毎月変わりのイベント歌や楽器演奏、落語、マジック等実施していたが、今は映画観賞、紙芝居、脳トレ、楽器演奏(飛沫を避ける)で、毎月24名しか入場できない(決まりがあるため)状況で参加者の声かけを工夫しながら行なっている。・飲食禁止のため(個包装のお菓子を持ち帰っていただいている、飲み物も)。
居場所づくり	入室前のうがい、検温、手洗い、アルコール消毒の実施。座る間隔を空ける、換気(冬は廊下側のドアを少し開ける、現在は外側のドアも開ける)。食事はお弁当にする。音楽療法は中止。簡単な手作りを増やす。
居場所づくり	なるべくおしゃべりしない手作業に活動内容を変えたり、屋外に出たりしている。

## Q4 どのように活動内容を変更し、工夫されましたか

活動内容	自由回答
居場所づくり	会場を広いところに変更し、間隔を空けて座れるようにした。喫茶コーナーのサービスはペットボトル飲料に、お菓子は個包装の袋詰めになっている。
居場所づくり	集会室使用制限の中、カフェとしての活動が難しいため、2020年度は暑中見舞いと年賀状など通信によるコミュニケーション、2021年度はボランティア・専門職にて検討中です(コロナ対策をしっかりと、利用者には何が提供できるか話し合う会議を予定している)。
居場所づくり	安全対策(感染予防)のため、活動場所を変更したこと。メンバー間の連絡を密にするために電話やメールで小まめに近況や会の運営について知らせるようにしたこと。
居場所づくり	1回の参加人数を減らして、開催する日数を増やして、密にならないようにしている。消毒と検温をしている。
居場所づくり	コロナの感染の状態によって、兵庫県の面会や外出の基準に合わせ、カフェ開店を見合わせる月もあった。その度にカフェを休むことをご利用者の方々へはがきにてお知らせし、ひと月の間に電話にて近況などを話していただく時間をとっていただいた。
居場所づくり、その他(つながりづくり)	・多くの人数で集まらないようにし(1~2名)、座席の位置にも配慮、感染予防対策を取ったうえで行なうことを伝え、協力を呼びかけるようにした。・非接触(お互いに出会わずともつながる方法をと考えた結果)でのまちライブラリー活動を取り入れることにした(2021年度~)。
居場所づくり、その他(認知症の方、介護者の相談場所)	活動日数を減らさざるをえなかった。時間も1時間短縮し終わりもサッと切り上げた。カフェ実施日は好天であったので室内と屋外に分かれた。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	電子工作等を子どもたちに教えているが、各テーブルに1名とし間隔を保ち、当会講師はフェースシールドを準備して臨んだ。開催できないときは、製作要領をDVDにして工作キットとともに郵送して後日質問受付をして対応した。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	・子ども食堂:市民会館での居場所としての開催ができず、お弁当・食材の配布に変更。コロナ禍で月2回→毎週に変更。検温、アルコール消毒などの対策も行なっている。・子育て研修会:家でも親子で楽しめるイベントを…とオンラインでつながり、YouTubeでお菓子作りの動画を作成し、各家庭で楽しめた。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	対面での貸し出しや文庫内に入れる人数制限があるため、絵本の貸し出しを中止し、持ち帰り本を用意し、自宅に持ち帰って家での絵本の時間をもってもらうことにした(重複本やあまり新しくない本を返却しなくてよいという形で)。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	緊急事態宣言中は休会し、フェイスブックでも休会のお知らせを出しています。イベントもチラシの配布をやめて、小規模で行ないました。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	オンラインで開催、人数制限、検温、アルコール消毒、マスク着用
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	夕食づくりの会ができないため、おしゃべり会の開催を継続した。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	①会場の窓を開放し、消毒・手洗いを必ずするように声かけした。②子どもたちが大人数集まるイベントを取りやめ(工作・料理)、少人数でも楽しめる読み聞かせ・ストーリーテリングの回数を増やした。③メンバーの健康管理をより重視するように心がけた。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	たくさんの参加がある夏と冬のおはなし会は中止した。普段のおはなし会も距離をとって聞いてもらっている。

## Q4 どのように活動内容を変更し、工夫されましたか

活動内容	自由回答
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	・通常は会館を利用していたが、高齢者の方も使われる場所だったり、参加者人数によっては十分な距離が取れなかったりしたので、会場を変更した。人数把握のため可能な方には連絡してもらったり時間をずらしてもらったり工夫をした。・活動の日数や時間も毎週土曜日にオンライン(ZOOM)をはじめ、遠方の方や平日お仕事している方が家から気軽につながれるなど利点が多かったため、通常開催に加え、継続しています。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、自助グループ	主に当事者及び保護者を対象とした話し合える場・居場所の提供を行なっているため、実際に集合・会話を行なうことが難しいためオンラインの利用を強いられる状況が続いた。工夫としてはZOOMへのアクセスの取扱いに慣れていない方に対しては個人的なサポートも行ない、その場に入っただけのように心がけた。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	緊急事態宣言中、および余裕をもって解除後も少し間をおいて開催時間を変更。活動休止とした。出張おはなし会の回数も大幅に減少、および休止。恒例のおはなし会は中止。室内ではなく野外にて公演を開催。文庫休室の期間および来室できない利用者のために本の宅配を開始、継続中。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	緊急事態宣言時はすべての活動を中止した。解除後は家庭文庫(自宅)に来る子どもたちが増えたので、感染防止に力を入れて活動を開始した。あらゆる扉や窓を開けて換気をよくし、消毒とマスクを徹底し、ボランティア側はフェイスシールドを付けて対応した。本の貸し出しは屋外デッキで行なっている。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	カフェ(週1回)運営する活動が中心だったが、カフェが活動中止となり、7月にチャリティショップをオープンし、チャリティ(寄付)をリサイクル服を販売することで募ること、また地域のハンドメイドが得意な方が販売する場をボックス販売として設置し、多世代の利用者をターゲットに交流の場を作っている。運営側は子育て世代が中心で、客層は高齢者も多く、見守り活動にもなっている。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動、その他(避難者支援交流及び相談)	公民館等が借りることができなかつたため、屋外での活動を中心に実施した。密にならないように少人数でイベントなど開催し、回数を増やした。
居場所づくり、障がい者支援	座席の間隔を空けボールなど複数の人が手でさわるような活動は中止。おやつを提供していたが、水分補給のみに変更した。
居場所づくり、障がい者支援	啓発活動として取り組んでいる一般対象の手話講座を、サークル員の家族・知り合いなど、後々連絡が取りやすい方を対象として実施した。使用している福祉センターの人数制限などあったため、いつもより広い部屋や2部屋使用して、いつも通りの人数・回数でサークル例会を実施した。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	前半は中止、その後財団のZoom講座を受講、後半はZoomを使って月1回程度交流し、オンラインでの交流となった。2022年度は屋外で集まってみることにし、広場で集まる予定(感染症対策もして)。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、その他(不登校の子どもたち支援)	・子ども食堂のほうは会食をやめて、お弁当配布とフードパントリーに変更。・放課後カフェはパーテーションを設置して手洗い、消毒、換気に十分気をつけながら活動している。参加者とスタッフを人数制限して取り組んでいる。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	オンラインの利用、Zoomなどを使用して音楽を遠隔から提供し、コミュニケーションを取った。演奏DVDを作成し、施設に提供した。
居場所づくり、障がい者支援、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援、まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	学校のイベント、行事はすべて中止になった。私立の保育園、児童デイサービスに時々電話をして出前教室ができないかと連絡を取り続けた。8月頃連絡があり、スタッフを最小人数で来てほしいとのことで2人で出前教室をした。行政からの紹介で高校の授業の一つとして手づくりおもちゃ教室を開いてほしいと依頼があった。3年生、1・2年生とボランティアグループの3回手づくりおもちゃ教室をした。

## Q4 どのように活動内容を変更し、工夫されましたか

活動内容	自由回答
居場所づくり、障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり、環境活動	活動自体をオンラインで行なったり、対面で活動を行なうとしても人数制限や時間の短縮など、密になることを避けつつ活動した。また、私たちは大学から活動への許可をもらわないと活動できない。感染症対策の具体的な内容と活動申請書を大学に提出し許可をもらったら活動するというような変化があった。
居場所づくり、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり	日本語教室を一部中止している。
居場所づくり、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	シニアなサロンは高齢者に向けてスマホ、オンラインの教室を始めた。今までは飲食の提供をして話し合うことを基本にしていたが、コロナ感染防止のため、お茶の提供はやめて、人数は5人くらいにして、話を控えるようにプログラムをした。オンライン教室ならば、マスクとフェイスシールドで対面して指導した。また体操教室も常にするにより、体の健康を促進できることをしてみた。
居場所づくり、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	毎月100名以上の参加者への昼食の提供をしていたが、調理場の3密回避、調理する方も高齢のため近隣のお店より購入し提供した。事前にメール予約をもらって当日もできるだけ屋外での受け渡しにした。個人・企業様からのご厚意でいただいた食料品なども提供した。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり	活動の場所、密度、回数などを実情に合わせた。・広い会場の利用、参加者数の制限…効率ダウン。・検温、消毒、換気の徹底…対応。・打合せの徹底…回数増。全体として効率は大きくダウンした。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	・会場での対面開催ではなく、Zoomを利用したりリモート開催に変更した。または、公園など屋外での開催も行なった。・年1回行なう大人数のイベントは中止した。その代わりに、毎月行なうイベントに講師を招いて勉強会などを増やした。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	1. 誰でもアーティストは5団体共同で開催。 2. 子どもが密にならずに短時間で活動するようなスタンプカードを実施。 3. 全体的に活動が縮小(中止)も。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	2020年度は4～8月、1～2月の計7カ月間活動休止に追い込まれ、活動できたのは5カ月間だけだった。9～12、3月はしっかり感染対策を行なって活動を実施した。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、文化・芸術	例会の回数を減らした。開催場所の変更。参加者人数の制限。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、文化・芸術、その他(ミュージックサロン、ミニ・コンサート)	1. 活動の方法の変更:①参加者の確実な把握(記名)、検温、手指消毒、マスク励行。②隔離用透明隔壁を自作(例図を添付)。③プログラムとしての「歌唱」を休止中。 2. 日数や時間、会場などの変更:①緊急事態宣言に対応して自粛(休会)。②会場を変更…「サロン」については、定員約24人の会場から、約100人の会場に変更(イスの配置間隔を拡大)。
居場所づくり、文化・芸術	・10、11月は駐車場を使って野外で歌声・フォークの集いを行なった。野外でマスクをし、大きな声を出さなかったのも、やや盛り上がりには欠けたが、青い空・海・澄んだ空気で気持ちよくなりフレッシュになった。・室内で歌声、仏教賛歌、スケッチ会、楽器演奏などの時は、パーテーションを設置し、椅子の間隔も空けて行なった。どなたも久しぶりの外出・ふれあいで、コロナ禍でもできる範囲で工夫して行なう必要性を感じた。・介護のつどいは当事者の方がデイサービスへ通っておられる時間帯に合わせて、少人数だがコロナ禍での悩みを話し合った。
子育て支援・子どもの健全育成	0・1・2歳児向きのお話会は中止。3歳児は希望する園のみ。フェイスシールドを着用し、園児たちが密にならないホールなどの部屋を使用し、窓・戸は全部開け放す。
子育て支援・子どもの健全育成	従来は週1日(2時間半)の活動だったが、バザーや公演の依頼が減っているので活動日を月2回に変更した。

## Q4 どのように活動内容を変更し、工夫されましたか

活動内容	自由回答
子育て支援・子どもの健全育成	・家庭文庫は閉鎖したまま開館していない。・お話し会は広い場所にてマスク着用(全員)にて実施。・グループの定例会も広い場所(会場費が増加)を確保。
子育て支援・子どもの健全育成	新型コロナウイルス感染拡大の時は休みにし、テーブル・椅子はアルコール消毒をし、手もその都度消毒しています。
子育て支援・子どもの健全育成	オンラインでの開催や自主開催をやめて子育てサロンや独自で主催されているところからのご要望に応じることでリスクを下げ活動している。
子育て支援・子どもの健全育成	緊急事態宣言下、初めて在宅活動(各自に材料・型紙を郵送など)を取り入れた(8/23回)。それぞれ在宅でも作品をていねいに製作してもらえた。宣言下でなくとも、集会室の使用時間が1時間半のため(今までは4~5時間使用)、各自自宅での宿題の形で完成させている。結果予定通り学校に届けることができた。本来は皆でおしゃべり相談しながらの活動が望ましい。しばらく今後も同様なことが続きそう。
子育て支援・子どもの健全育成	練習時間が短くなった。国の出した緊急事態宣言期間中は活動を自粛した。人形劇を演じているとき、なるべく声を出さないようにCDに台詞を録音して、その音に合わせて演じる練習を行なった。
子育て支援・子どもの健全育成	緊急事態宣言が出たり、学校の活動を自粛している間は活動をやめている。また感染(地域)の状況を見ながら拡大傾向にあるときはしないようにしている。内容についてはマスクをしたまま、大声は出さずにできる活動を探してするようにしている。
子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	メンバーが減ったので日数を減らした。活動は年間計画をしっかりと立てて、おおまかな流れを把握しやすくする。
子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	1. オンライン練習の実施、公演スタッフの人数制限(各公演に関わるスタッフを少人数に制限した) 2. 活動日数の減少
子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	神戸に緊急事態宣言が出ている間は、会場を借りての対面活動をやめて、Zoomアプリを使用してリモートでの活動やミーティングを行ないました。最初はスタッフが子どもたち(参加者)のリクエストに応じて動画を配信するという形から始めました。2回目の緊急事態時にはリモートにも慣れてきたので、子どもたちもZoomに参加した活動を行ないました。劇場公演では客数を減らす、飛沫予防にマスクと衣装を工夫しました。その他、活動時間の短縮や、会場によってスタッフの人数を調整などをしました。
子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	・感染が拡大したときは行事を中止した(春の武庫川廃線跡ハイキング、親子水辺遊び)。・環境先進地へのバス旅行を廃止した(京都府美山・日吉ダム方面)。
障がい者支援	フェイスシールドを利用したり、コロナグッズを利用している。
障がい者支援	定例会の中止。メンバーが集まってする共同作業の中止⇒選書会議、打合せ、編集作業をメールのやりとりで行なった。複数での共同作業が必須の工程はそれぞれの家族の協力を得て乗り切った。家族が活動を理解してくれていればこそできたことだった。
障がい者支援	昼と夜サークルの2部制で運営しているが、昼は会場の定員が半数に制限されるため、3グループに分け、毎週開催していた例会を2回/月に減らし、サークル員が公平に出席できるような工夫をした。4月から年金会館の耐震工事に伴い、会場をレバンテ多目的ホールに移した。それに伴いグループ分けは解消したが、会場費用の都合もあり、3回/月の開催に減らした活動となった。夜の部は会場の要請で8時までの時短要請に基づき活動している。会員数が減ったため昼のようなグループ分けはせず、内容はあまり変更なく活動ができている。



## Q4 どのように活動内容を変更し、工夫されましたか

活動内容	自由回答
障がい者支援	毎日発行の広報誌や議会報などの収録にあたり、蜜を避けるため狭い密室の録音室を開放したり、あるいは広い会議室で収録している。少し雑音が入り本来の収録はできにくいですが、皆様に音声訳をCDにしてお届けできた。対面、訪問朗読を行なっているが、お会いできないときはすでに収録した物語などを聞いていただいた。
障がい者支援	1回目の緊急事態時は、往復はがきで近況報告を聞き取りまとめたものを各々に届け分かち合った。
障がい者支援	・緊急事態宣言が発令されている間は練習会は中止。・練習会当日は体温測定、マスク着用、除菌、集合場所での密を避ける。・運動時は2m(最低1m)の距離を確保。
障がい者支援	・会場の人数が普段の半数に制限されたので、今までより大きな会場を借りた。・会場の使用時間が短くなったので、例会も時間内で終わるように調整した。
障がい者支援、その他(点字・点訳活動の普及のための広報)	点訳自体は各自の自宅で行えるが、点字印刷は現在借りているお部屋でしかできない。90分の時間制限の中で現在抱えている点訳物をすべて印刷するのは不可能で、特別に別の日に印刷させていただいています。それでもまだまだ時間が足りていないのが現状です。早く以前の状況になればいいのに…
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	①イベント企画・運営の活動はコロナ禍は中止した。その代わりに休校措置で家庭で過ごす障がいのある子どもたちとZoomを開いてオンライン上で顔を合わせ、遊ぶ活動に変更した。②2020年4～5月は公共施設の利用ができなくなり、フットサルの活動場所の確保ができなかった。ストレス発散がうまくできず、家庭内でしんどさを抱える親子がいたため、地域の公園で遊ぶ活動に変更した時期があった。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	「なるべく集まらず活動する」ことをモットーに、デイジー図書作成に必要なUSBを代表宅に届けてもらったり、郵送してもらったりしています。利用者さんとの交流会ができないので、電話で近況をお聞きするなど今まで以上のコミュニケーションが必要だと感じています。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	・文庫の回数を月2回のところ、毎週実施しました(学校や図書館が休みのとき)。・コロナが流行ってからは本のある部屋で本の貸し出し・おはなし会を持ち、もう一つの別の部屋で折り紙指導をするようにして密を避けました。・お母さんと連絡を取り、1組30分と時間を決め、前もって時間の配分をしていきました。また来れないときは本のリクエストを聞き、折り紙の見本や材料と共に宅配していったこともありあす。・ブックコートの日を利用して、ある材料を持ち寄り、マスクを作り文庫の子やおはなしに行っているところに配りました。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、その他(ネットワークによる子ども・若者支援(※新たな活動))	・オンライン(Zoom)による活動により双方交流(会議、学習会など)。・リアルとオンラインの両立で行なうこともありに。・マスク、消毒、換気、検温などに努め、ソーシャルディスタンスを保つように努めた(講演会)。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	まずはメンバー各自の体調管理。来ていただく方々の体調チェック、その日の体温記入、来た時の手洗い、除菌、マスク着用、適度の換気。終わってからの除菌シート・除菌スプレーなどで使ったところの拭き取りはすべての場で必ずしている。リズム体操講座も依頼をいただいたら万全の準備で実施している。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術、その他(高齢者施設訪問)	今までは大正琴の演奏に合わせて一緒に「歌う」ことができたが、全く「歌う」ことをせず、打楽器(鈴、タンバリン等)で音遊び等をする工夫を行なっている。観客は予約制(できる限り)で人数制限を行なっている。
障がい者支援、自助グループ	オンライン(Zoom)でのミーティング(自助グループ)機会の増設
障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり、その他(コミュニケーションの円滑化)	オンライン化に挑戦した(ZoomやLineビデオ)が、会員のスキルが高齢化のため追いつかない。今後の課題となるが、意欲の問題もある。

## Q4 どのように活動内容を変更し、工夫されましたか

活動内容	自由回答
多文化共生・外国人支援	集合研修については夏をすぎても感染リスクが高かったため、遠隔(Zoom)に切り替えた。秋に落ち着いたので英語のみ集合研修で開催したが、その後感染が拡大したためオンデマンド(ビデオ)教材に切り替えた。医学の勉強会だけでなく交流を目的としたミニ講座で感染症の話や税金の話なども扱い意見交換の場とした。
多文化共生・外国人支援、子育て支援・子どもの健全育成	・施設への折り紙による壁面飾り:メンバーが集まるのは困難となり、毎月第1土曜に各自各家庭で作ったものを持ち寄り、その次の週に小学校と障がい者施設に届けることとした。・子ども日本語教室:子どもや保護者と出会うのは感染の恐れがあるので、現在は休止。困ったときにはラインやメッセージで連絡を取り合っている。
多文化共生・外国人支援、文化・芸術	2019年度まで大阪と神戸で毎月1回ずつ開催していたコトバカフェ(中国語のおしゃべりの会)を、2020年は、①オンライン(4月～)、②コトバカフェ神戸(2020年7月から再開～)に変更。オンラインは日曜午前や夜間などに開き、子育て中の人でも参加できるように工夫している。
地域の困りごと支援・まちづくり、その他(園芸活動)	1. SMS・FAX・電話などの方法を活用し、相談計画をすすめた。 2. 時間帯を当人に任せて活動した。
地域の困りごと支援・まちづくり、環境活動	集会場で実施していたイベント(花のフェスティバル)を中止し、集客の方式から配達販売の方式へ変更するなどして、活動を単に中止するだけでなく「絶やさない」取り組みができるような工夫をした。
地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術、環境活動	1. 会議にリモート(Zoom)を採用 2. 総会(20～30名)の中止→メール総会とした 3. 月次役員会メンバーを絞り込む 4. 共催イベントの中止
文化・芸術	ふれあい食事会→ふれあい音楽会(ギター、ケーナ、邦楽演奏)第2木曜日1:30～2:30。 ひまわり音楽会→大正琴、キーボードに合わせて童謡、唱歌を歌う(第1水曜日1:30～2:30)。 映画会、カラオケは中止。
文化・芸術	参加人数を20名までとし、超えた場合はお断りする。窓を開け、机はなし、椅子は間隔を空けて座る。お茶、おやつはなし。歌詞、手作り新聞スリッパを持ち帰ってもらう。感染者の多いときは中止にして、電話連絡(参加者には電話番号を書いてもらっている)。
防災・減災	・食材を扱う講座については開催を延期した。・市民センターのコロナ対策に従い、参加人数を定員の半数までとした。・一部オンラインを導入した。
防災・減災、環境活動	緊急事態宣言中は予定行事を変更した。月例役員会を対面式からメール審議方式に変更、年次総会もメール審議に変更、主催講演会は開催を中止、野外活動(武庫川河川敷清掃と特定外来種の駆除)中止。11月の活動報告会は会場を変更し、参加者数を制限するため事前申込制を採用。
防災・減災、環境活動	・緊急事態宣言が出ている時期は活動を中止した。・マスク着用や消毒、三密を避ける集団行動に注意した。・「体調に不安のある方はご遠慮ください」と注意した。・最終日には自主的な判断をしてもらった。
その他(ふれあい、見守りをモットーに御利用者様への配食)	感染予防の徹底のため、訪問時、手指の消毒、フェイスシールド等の着用、スタッフ全員体温測定を行なう。
その他(医療福祉、乳がん検診啓発)	・街頭での啓発グッズ配布の中止→展示のみ。・患者サロン→Zoomを使ってオンラインで開催。・ミーティング→Zoom、Lineトークを利用して開催。・SNSを利用して発信していく。・募金の協力など直接に伺うのではなく郵送で、また地域のコミュニティ新聞に掲載依頼をする。

## Q4 どのように活動内容を変更し、工夫されましたか

活動内容	自由回答
その他(音楽療法(子どもから高齢者まで)、歌体操)	・活動の中でメンバーの意思疎通を図る方法が変わった。ex.)会議の練習が集まっているのではなくLineやZoomになった。・活動の日数が昨年より大幅に減ったが、メンバーが個々に活動しなんとか継続している。また、一人ひとりがスキルを上げる期間と思い、オンラインの準備をしたり、資格を取り直したりした。
その他(高齢者福祉)	組合員集会室使用時間を短縮して各々家でモチーフ編み、ひざ掛け、小物づくりを頑張っている。
その他(食事に来られる方へのカードづくり)	時間の限り頑張って作り、どうしても仕上げ(カードの中のおめでとうメッセージと包装など)は自宅でやらざるを得ない。ふれあい食事会はお弁当で毎月開催されており、楽しみにしてくださっているので、それに間に合うように頑張っている。
その他(病院内でのリハビリとしての折り紙)	月2回…①病院での折り紙活動(→中止)、②①のための準備(折り紙のサイズカット)は月1でメンバーに向けてすることとなったが、月1回90分で作品を仕上げるには時間が全く足りず結局準備はコロナ禍等々のため1人でしている。これが実に大変で何とかしなくてはと画策中です。
環境活動	①コロナが言われ始めて様子も分からないまま、4・5月の2カ月間活動を休んだ。 ②運営委員会など、以前は集まって行っていたが、可能な限り書面やメールで行なっている。
環境活動	エコストーブ製作講習会を取りやめ、森や広場でできる「竹灯笼づくり」に変更した。日数は、公募2回、友人・知人の公募1回に分け活動した。
環境活動	基本的に3カ月ごとに開催の倶楽部ミーティングの会場は蜜を避けるため、コストは増大するも岡本好文園ホールの会議室からホールに変更して開催。オープンイベント時は、受付時に参加者全員に非接触検温器と手指消毒を実施、かつ登山口までマスク着用を義務化。
環境活動	1. 小学3年生の環境体験学習は神戸市立全小学校で中止と決定。2. 上記のため、担任の先生3名のみでさつまいもの苗240本を値付けした(1学期)、(2学期は例年通り、児童99名が参加した)。3. クラブ主催の農業体験、林業体験、収穫祭とすべて中止した(年3回~4回)。4. 中学2年生の「トライやるウィーク」は日を変更しながら、学校の依頼で予定していたが最終的に中止となった。
	会場借用不可により、活動自粛中です。

## Q5 市民活動交流会で、コロナウイルス感染症対策や活動のヒントなど、他グループに聞きたいこと

活動内容	自由回答
居場所づくり	徹底した感染予防を行なっているつもりであっても“もしも”ということがある。具体的な予防で特に行なったほうがよい！というのがあれば教えていただきたい。
居場所づくり	毎回次は何をしようかと頭が痛い。どのようなイベントをなさっているのか、それはどこから情報を得るのかお聞きしたい。
居場所づくり	オンライン導入の方法。具体的にどのように一人ひとりの高齢者やIT弱者に教えているか知りたい。
居場所づくり	感染者が発生した会はあるのか？ またその際の対応はどうするのか？ 活動の参加者それぞれの考え(実施するかしないのか…)のまとめ方。
居場所づくり	参加者が高齢者が多いため、感染を恐れ参加されない方が増え、事業収入が減り、運営が苦しくなっている。他の方はどのように工夫されているのでしょうか？
居場所づくり	感染症を乗り越える方法など素人には無理なことだけれども、ただただ手指消毒、マスク着用、換気(空気清浄)、冬場は加湿に留意することのみである。つながりを回復するために行なっていることは、毎月発行している小さなつどい場ニュースを休止期間もつどい場の庭の花やコロナに関するコメントや本(読書)紹介など記載して、常連利用者にポスティングを続けた。これは大変喜ばれ、ニュースの感想を寄せてくれたり、再開時のお知らせをニュースに書くことにより、喜んで再び来られるなど、つながりの維持に努める意義を感じている。
居場所づくり	コロナウイルス感染症を乗り越える方法:兵庫県や神戸市の緊急事態宣言中の対応方針に従い運営している。感染拡大防止のためおやつ提供を中止。開催時間の短縮・1メートル以上の間隔の確保等々注意を払っている。つながりを回復する方法:緊急事態宣言が解除されれば、お休み中の方々へ再開案内状でお知らせをしたいと考えている。
居場所づくり	予防を徹底することだと信じています。
居場所づくり、その他(つながりづくり)	コロナウイルス感染症に対応しなければならないという事態だからこそ生まれた活動があれば聞いてみたい。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	オンラインを活用した事業の取り組みを聞きたい。「Zoom」を活用したり、学習支援などオンライン講座について。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	①メンバーでの集まり方は？ ②アイデアや方法などを、どうやったらまとめたり試したりできるのか？
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	小規模なので宣伝して利用者を増やしたいと思っていたのに、コロナなので宣伝活動ができない。このまま小規模で続けるのか、宣伝して利用者を増やしていいのか悩んでいる。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	適切な予防策とナーバスになりすぎないことも大切だと思う。不安感に巻き込まれすぎないよう気をつけた。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	①西宮市の小中の不登校児童生徒は800人以上。しんどい親子はたくさんいるはずだけれども、周知されずつながれていないと感じる現状があります。②また、行政、市、教育委員会、学校、先生方にもまだまだ正しい理解や支援協力を得られないことも多いです。以上2点についてどうすればいいかヒントや知恵を教えていただければうれしいです。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、自助グループ	リアルでの交流の場を開けないならば、団体・グループ紹介をYouTubeなどを活用した紹介をしたり、グループに直接アクセスしやすいようなしくみを作ったり(クリックしたらQコーナーへ飛べるなど)、気軽に問いがけができるような工夫をしてはいかがでしょうか。また地域ごとのオンライン交流などもよいのかも…
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	粘土や紙を利用して季節の小物を作って楽しんでいただくというグループ。コロナ禍のため思うように活動できないので、元気なボランティアグループに呼びかけていただきたいと思います。いつでも行きますので気軽に呼んでください。

## Q5 市民活動交流会で、コロナウイルス感染症対策や活動のヒントなど、他グループに聞きたいこと

活動内容	自由回答
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	人に会うことも直接話すことも憂慮する現在、ボランティア同士のつながりとモチベーションをどのように維持しているのかお聞きしたい。他の家庭文庫ではどのような感染防止対策をしているのかお聞きしたい。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	オンラインの居場所として成功されているグループの方がいらっしゃる場合には活動内容をお聞きしたい。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動、その他(避難者支援交流及び相談)	Zoomなどの利用がよいと思うが、使えない方もいると思うので、少人数での開催などにする。
居場所づくり、自助グループ	交流会に参加する人々同士の情報交換や対話をすることで、各自がヒントを得ています。新しい参加者で気になる人には会長が電話をしたり、電話で相談に応じている。
居場所づくり、障がい者支援	福祉センターの利用ができない期間(2020.3月～5月)は、サークルを休会した。他のグループでもそのようなときにはどんな活動をしたのか聞きたい。
居場所づくり、障がい者支援	オンラインでも開催したいと考えているが、オンラインに参加できない方へのフォローはどのようにされているのか知りたい。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、その他(不登校の子どもたち支援)	本当に届けたい子どもたちになかなか届かないが、こんな時にこそ活動(十分気をつけないといけないが)を続けることにより少しずつ繋がってきたように思う。他のグループさんはどのように届けたい繋がりたい方に繋いでいかれているのでしょうか。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	他グループの方の工夫を知りたい。他グループさんと協力し合えるところは協力し合って活動を広げられたらと思う。
居場所づくり、障がい者支援、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	1. 市民交流会で知り合った子ども食堂の会を通じて、小学校のコーディネーターから電話があり、小学校1年生2クラス54名におもちゃづくりを教えてほしいと連絡があった。自グループおもちゃだけでは対応が困難と思い、他グループにお願いして、ボーイスカウトの方々を含め3グループで対応した。生涯学習プラザの方々の支援もあった。密にならないように体育館を用意してもらった。3グループ共同でできたのが大変よかった。2. 以前知り合った様々なグループのイベントに参加させていただいた。シャボン玉、水遊びなどをしていたので、水鉄砲を供給して遊びに参加した。水鉄砲で楽しく遊んでいた。
居場所づくり、障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり、環境活動	思うように活動ができず、メンバーのモチベーションも下がっている場合、どのようにしてモチベーションを上げたり、メンバー間のつながりを強化したりしているのか。
居場所づくり、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	どれくらいのコロナ対策の上で実施されているのか？ 開催する・中止するの判断はどのようにされているのか？
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり	コロナ禍の当初に比べ、流行は続くもののなんとか対策して活動を実行しようと努力していると思う。「うつさない、うつされない」を意識した。活動の工夫などを意見交換したい。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、環境活動	親と子の調理実習を企画しているが、コロナ禍で実施するにあたり、どのような対策が必要となるか？ 実際に活動しておられる方々の工夫を教えてください。

## Q5 市民活動交流会で、コロナウイルス感染症対策や活動のヒントなど、他グループに聞きたいこと

活動内容	自由回答
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	リモートで活動を行なっている団体の方に、リモートでも参加者の方が満足していく進行や内容など工夫していることがあれば教えていただきたい。10人を超える参加者になると、全員が思うように発言できず、参加者が減ってしまいました。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	・どのように工夫されているか知りたい！ ・コロナの動きと、できればともしび財団としての動き(指示など)を時系列で示していただけると大変うれしい。その全体の流れの中で、自分のところの活動がどのように位置づけられるか、今後のコロナ動向にも参考になる。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、文化・芸術	安全・安心して活動できる確たる対策は何ですか。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、文化・芸術、その他(ミュージックサロン、ミニコンサート)	緊急事態宣言発令時に、あらかじめ予約してあった外部講師や、(音楽などの)演奏者に催しの中止をお願いするにあたっての「違約金」などの取扱いはどのようにしておられるかについてご教示いただきたい。(「契約書」を取り交わしての「依頼」とするべきかどうか。現状はメールでの依頼だけで、「契約書」締結はできていないが、こちらが素人なので大目に見ていただいている。)
子育て支援・子どもの健全育成	連絡をできるだけ多くして孤立する人がいないように心がけています。
子育て支援・子どもの健全育成	ミーティングをはじめ人形劇など練習が必要な活動をオンラインでどのようにされているのか。どのようなオンラインツールを利用されているのか。
子育て支援・子どもの健全育成	多人数の中で行なう人形劇の公演では、コロナ感染のリスクはとても高いと思う。しかし3密を避けるための対策を徹底すれば公演も実現できるのではと考えている。演技者はもちろん裏方もマスクを着用する。観覧者との直接の接触を控え、必要ならフェイスシールドを着用する、などいろいろな工夫をした上で昨年の12月には児童館等の公演依頼を引き受けることができた。公演の受入先も換気や人数制限、観覧席などに十分な配慮があり、無事に公演を終えることができた。子どもたちの喜ぶ顔を見てこれからも感染対策を一番に考えながら活動を続けていきたいと思った。
子育て支援・子どもの健全育成	部屋の換気、マスク着用、消毒…など気をつけて活動しているので特にはない。
子育て支援・子どもの健全育成	活動の内容など変更なく遂行しております。
子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	私たちの団体では、コロナ以前は活動外の時間に飲食などを一緒にしながらスタッフの悩みを聞いたり、問題点を話し合ったりしていましたが、それができなくなったことで、特に新規のスタッフへのフォローや目配りがしにくくなりました。他のグループではどのようにされているのでしょうか。
子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災	改めて他団体や地元行政などの連携が重要と感じた。皆さんは独りよがりの団体にならないためにも他団体と関係強化のために何か行っていますか？
子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	屋外での活動を三密を避けて取り組みたい。
障がい者支援	Zoomなどを利用して活動、あるいはメンバー同士の会議などを行っているグループがありましたら実態を知りたい。
障がい者支援	地域の皆さんとのつながりを深めている「たるみっこまつり」や「たるみ福祉フェア」などは、行事に参加することで自分たちの活動を理解してくれる人を増やすためには大変有効だと思う。コロナ禍でもそれらの行事を無事に開催できる方法や、それに代わる機会をどのように得て活動を続けておられるのか教えていただきたい。
障がい者支援	朗読を提供されているグループの皆様も多いことと思う。どのような工夫をなさっていらっしゃるかお聞きしたいです。

## Q5 市民活動交流会で、コロナウイルス感染症対策や活動のヒントなど、他グループに聞きたいこと

活動内容	自由回答
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	メンバーや参加者とこれまでのように直接会うことが減ってしまった方もおられると思う。直接会えない中でのコミュニケーションの取り方で工夫されている(意識している)ことがあれば教えていただきたい。Zoomなどのオンラインでのコミュニケーションに多少疲れ、嫌気がさすこともある。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	こんな時だからこそ自分たちのグループができることをやり続けることによって、グループのメンバーとも、参加してくれる親子やみなさんとの絆が強くなってきたように感じます。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、その他(ネットワークによる子ども・若者支援(※新たな活動))	・自団体ではZoomでつながることが可能でしたが、それが叶わない場合他のグループさんではどのようにつながり合うことに努められたのか?をお聞きたい。・消毒液、検温器などの他、パーテーションを活用してリアル集まりが可能になった(マスク必須、飲食一切なしで行う)。・今後オンラインによるグループ活動を紹介し合うなども。
障がい者支援、自助グループ	オンラインでのつながりの機会を増やすこと。Webでの情報発信(ブログ、ツイッターなど)を増やしている。他グループの取り組みもお伺いできるとうれしい。
障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり	三密を守りながら体を動かし、電話会話を楽しんでいる。
障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり、その他(コミュニケーションの円滑化)	リアルの対面がいかに多くの情報が得られるかを実感している。Lineや電話などで会員相互の連絡を取っているが、他のグループはどのようにされていますか?
多文化共生・外国人支援	私自身も画面ごしの研修に疲れを感じている。研修は不要ではないが不急かもしれない。医療通訳も同行が難しくなるなかでボランティアのモチベーションを保つ工夫を知りたい。
多文化共生・外国人支援、文化・芸術	料理会を1回も開催できませんでした。開催されているところがあれば、どのような工夫をされているか、また実行可能と判断された基準・条件を聞かせてほしい。
地域の困りごと支援・まちづくり	大きな変更はしていないが、個人宅への掃除などについては見合わせている。病院への付添いなどはしているが、それぞれで工夫し感染には十分に配慮しているが、他のグループではどのような工夫をされているのかお聞きたい。
地域の困りごと支援・まちづくり、環境活動	イベント活動の存続に対するアレンジ方法など。
地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術、環境活動	我々と同様に不特定多数を対象とする活動をしているグループは、コロナ禍においてどのような工夫をして活動しているのか?
防災・減災	実際に会って交流することも大切だが、オンラインで交流することもつながりを広げるために役立つ。
防災・減災、環境活動	三密を避けること。コロナの感染拡大状況によるが、ZOOM参加もOKとしてはいかがでしょうか。
防災・減災、環境活動	屋外のボランティア活動でも移動のリスクを感じている。他のグループの工夫をお聞きたい。
その他(医療福祉、乳がん検診啓発)	コロナ禍でメンバーが増えない。メンバー募集はどのようにされているか。
その他(特養訪問)	コロナが収束し、元通りの活動が行なえるよう祈るのみ。
環境活動	環境活動そのものは屋外で行なっているので大きな制約はないが、活動メンバーの募集などの機会を持つことが少なくなってきた。やはりSNSやZoomの活用などしないといけないかと悩んでいる。

Q5 市民活動交流会で、コロナウイルス感染症対策や活動のヒントなど、他グループに聞きたいこと

活動内容	自由回答
環境活動	皆の念願であるエコストーブ製作講習会を行ないたい。このような密になりかねないことでも工夫をされているグループの方がおられたら教えていただきたい。
環境活動	環境体験活動のサポート指導を中心に活動しています。フィールドの準備、手入れなど同じボランティア団体はどのように対処されましたか。
	コロナウイルス感染症を乗り越える方法:兵庫県や神戸市の緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置の解除を待っております。つながりを回復する方法:緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が解除されれば、ご参加いただいていた方々へ再開案内上でお知らせをしたいと考えております。



## Q6 コロナ禍でグループ運営上困っていること — その他(自由記入)

活動内容	自由回答
居場所づくり	介護者の集い！ということで高齢者が多い会合になる。感染予防には徹底して取り組んでいるが、中には予防のために出席を控える方々もおられ、また今までにない問題として被介護者の施設における問題等も発生している。こんな時こそこの集い場の意義があるように思われるが、人とできるだけ会わないのが予防であり、反面人と会って悩みを聞いてもらうのが集い場であり、難しい状況です。
居場所づくり	・参加者が固定され、今までは喫茶での飲食やおしゃべりを楽しみにされていた多くの方や遠方からの参加者が減ってしまった。・オンライン機材が会場にない(Wi-Fi)。
居場所づくり	折り紙の教え合いは、ポスターに次回の折り紙と日時を書いて貼っています。皆さん気づかないのか気づいても来られないのか不明ですが、どちらも正解な気がしています。コロナが落ち着いて元の活動ができる日を待っています。やはりふれあい喫茶が本筋だとみんな思っています。
居場所づくり	活動場所を地域の集会所にしていたが、1名の男性の大声での罵声、怒声、誹謗中傷で活動場所を変更せざるを得ないことになった。活動地域が県営住宅を中心にしており、高齢化率63%で入院・認知症が進み対象者の方々の様子や関わり方にボランティア全員で向かえないことが心配。
居場所づくり	基本的にマスク、消毒厳守。出演者と利用者間に透明シート設置(毎回うまく設置できずてんやわんやです)。活動前後に椅子・テーブル1つずつ消毒。間をあけて並べ、途中に換気タイムを取る。活動時間が準備・片付けで90分と短い時間でやらなくてはならないので非常に大変。利用者さんには人数制限をして名前・連絡先をお聞きして予約していただいています。
居場所づくり	手洗い、マスク、フェイスシールドなど安心安全を心掛けているが不安。
居場所づくり	人を集めることへの不安や批判がある一方、学生のボランティア応募がある(活動の場が少なくなっていることや学校の許可がおりないため個人責任での参加となっている)。
居場所づくり	事業収入の減少は致命的で、2021年度4月からサロン参加費を200円→300円に値上げを決定した。しかし、4月以降の感染拡大では中止せず活動を続けているが、常連利用者の数名で補填は難しい。
居場所づくり	磁石数字盤の使用を時間短縮と消毒が大変なので、中止しているため参加者が減少しているのかもしれない。早く以前のように活動ができればうれしく思う。
居場所づくり	集まる人数制限があり、今まで50~60名の参加が不可能となり、参加される方への声かけが難しい。毎月地域毎にスタッフが手分けして声かけやチラシを届けている。安否確認も兼ねて行なっている。
居場所づくり	参加人数が減っているが今は誘い難い。広い会場に変更したため、会場費の負担が増えている。
居場所づくり	メンバーが全員集まると密になるため、全体会を開くときに配慮が必要だった。毎年親睦を兼ねて食事会をしていたがそれもできなくなり、メンバーの顔を見てお話ができなくなり寂しく思っている。
居場所づくり	一人暮らしの高齢者がコロナで行動が制限されている。もっと開催を増やしたいが、スタッフの都合もあり、日数を少ししか増やせない。
居場所づくり	感染の拡大により、開催を休むことが一番困ることです。居場所とは、定期的に「心やすらぐ場所がそこにある」という現実が大切なんだと、このコロナで再確認しています。予防の徹底を考え、開店時には密にならないように対処していますが、認知症の方との会話はそれぞれの方のパーソナルスペースがあるので、コロナのソーシャルディスタンスとは異なる。やや近くてより会話をしていく必要もあるので、その辺のスキルを磨いていく方法を考えていきたいと思っている。
居場所づくり、その他(つながりづくり)	特別な企画を立てても感染状況に左右されてしまい、開催日を早くから決められない。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	・やはり感染が心配で集まる活動に不安がある。・お弁当ではなく食材支援の場合、収入が全くないので資金的に苦しい。・食材の提供が多く、保管や引き取りが大変、配布も大変。

## Q6 コロナ禍でグループ運営上困っていること — その他(自由記入)

活動内容	自由回答
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	メンバー全員で集まることができなくて、時間をずらして2部制にしてミーティングを行ったり作業をしたりした。この6月末より新店舗へ移るため絵本の整理や方向性をじっくりと話し合うことができない。どうしても全員の意見を聞きながら話し合いをすすめていくことが難しく、少人数の意見ですすめてしまうことが多かった。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	スタッフのボランティアが高齢のため中止や再開のタイミングが難しい。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、自助グループ	会員数の減少⇒会費収入減＝活動費が減少することで危機感が増した。原因としては活動運営メンバーの意気消失、コミュニケーション不足。やはり元気！！がんばろーの気持ちと実感はリアルな間柄でこそ育つのかとを感じる。それが活動意欲消失→新・旧会員に伝染していつているように感じる。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	オンライン導入はサークルのメンバーが60歳以上のため、また対象が高齢の場合、難しいと思う。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	長いコロナ禍で先の見通しがつきづらく、今後の活動についてメンバーで協議しながら活動を行っている。メンバーの中にはコロナの恐怖で全く活動に参加できなくなっている人もいる。利用者からは開室の要望が強く、閉室中本の宅配を始めたことにより新しい図書の購入冊数を増やし、利用者のニーズに応えられたことがよかったと感じている。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	活動依頼が減り、学習会への参加もなくなり、グループのモチベーションをどう維持していくか、日々思案している。また感染しないように閉じこもりがちになっていることもストレス。できるだけ情報を発信し、自分の身の回りことでも連絡を取るようになっている。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	緊急事態宣言の際は、客数・利用者が激減。寒い中であつたが、全く利用者のいない日もあつたためとても活動が苦しかったように思う。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動、その他(避難者支援交流及び相談)	遠方からの参加者もいるので、当会が利用している空き家近隣の住民の方から不安の声もある。
居場所づくり、自助グループ	コロナ禍の影響で会えないことが続いたため、会員の様子が一時分からなくなった。オンラインの導入を勧められているが、経験がなく今後の課題です。
居場所づくり、障がい者支援	ソーシャルディスタンスを取るためにもう少し広い会場に変更したいが、車椅子の方が複数おられ、交通の便がよくバリアフリーの場(会場費が安い、できれば備品などもおける)がない。
居場所づくり、障がい者支援	マスクの着用:対象者が聴覚障がい者であるためマスクを着用すると口の動きが読み取れない。フェイスシールド、マスクシールドの着用で実施していたが、ニュースなどで予防の効果の差などを見るとどの方法がよいのか迷う。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	屋外で活動できる場をようやく見つけたが、パンダ活動日の第2土曜午前中、5・6・7月はすでに予約で埋まっており、別の手段も考える必要があります。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、その他(不登校の子どもたち支援)	2020年3月まで特養で開催していたが、休止(使用できないため)。3月中旬より公共施設でお弁当配布開始。有事の時にも活動できる居場所が必要と痛感。地域の中で築60年の人が住まなくなって13年のお店だったところを地域やスタッフのご支援で新しく使えるように修理して、4/5開催(リニューアルオープン)した。今のところスタッフ、高齢者ばかりなので、コロナに感染しないか心配しているが、思いつづける限りの対策をしながらお弁当を毎回50食配布している。オンラインは誰も使えない(使えるように努力します)。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	一番困るのが、いつまでこの状態が続くのか見通しが立たないこと。

## Q6 コロナ禍でグループ運営上困っていること ― その他(自由記入)

活動内容	自由回答
居場所づくり、障がい者支援、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	イベント、出前教室は自グループのメンバーだけでなく、他のグループの紹介や支援を受けてやったと思う。尼崎市ボランティアからサークルを紹介してもらった。放課後児童デイサービスに通っている生徒たちを対象に手づくりおもちゃをします。人数は親子で30名。詳細は打合せで決めようと思う。
居場所づくり、障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり、環境活動	・2020年度に新しく入ったメンバーと既存のメンバーとの関わりが少なく、今まで上の世代から受け継いできたものを次世代に受け継いでいくことが困難になりつつあること(例えば、運営におけるノウハウなど)。・新しく入ったメンバー同士で関わる機会が少なく、メンバー間のまとまりがあまりなかった。
居場所づくり、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	・コロナの影響でこれまで通りの開催がいつできるのか、計画もどれだけ実行できるのか心配もある。・調理スタッフなど高齢の方が多く、コロナが落ち着く頃復帰してくれるのか心配。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり	公共の施設での活動のためコロナ感染予防のため使用できなくなったときに、他の場所がすぐ見つかるか不安に思っています(民間施設はレンタル料が高いため)。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり	この1年は手探り状態。これからの1年が大事と思う。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	神戸市北区、三木市を中心に活動しているが、コロナの感染者の数に地域差があり、コロナに対する危機感などにも地域差を感じています。また、個人でも意識が違うため、メンバー内でも意志の疎通が図れないことがあります(開催の可否など)。また、神戸市→三木市など感染者の多い地域から少ない地域への移動に躊躇します。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	1. 居場所として年間363日(2020年度)オープンできているか、全般として活動が減り、運動資金も減少。2. 地域交流(祭、文化祭、音楽と食の春秋の宴)がすべて中止。イベント講座も講師の判断もあり中止延期が多くある。3. コロナ禍の中、新しい取り組みとして子どものスタンプカードが比較的人気で昨年3月～約1年間で登録子ども約350名、総来場子ども数約3000名です。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、文化・芸術	安全・安心できる対策が何か分からないこと。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、文化・芸術、その他(ミュージックサロン、ミニコンサート)	4: 催しの開催可否の決定を、(原則として)緊急事態宣言の有無で決めている(それ以外には決める根拠がない)。まさに「先の見通せず計画が立てられない」状況にある。6: 「ミュージック・サロン」も「ミニ・コンサート」も「決めたとおりの日程」で準備し実行することが参加者(入場者)の期待であるが、そうできないことが続くとモチベーションが低下する。昨年(2020年)には、「サロン」では12回計画したうちの3回が「コンサート」では6回計画したうちの4回が中止となった。8: 「参加者のみなさまへのお願い」(注意事項)として、参加者と主催者のそれぞれにおける注意を呼びかけているが(添付)、それでも主催者としては、クラスターの発生を極度に恐れている。
子育て支援・子どもの健全育成	活動する場所(園・学校)は休校にならない限り確保されているが、勉強する部屋が狭く、2時間を越える場合が多いので困っている。7人以上は入れない部屋などは利用できないし・・・
子育て支援・子どもの健全育成	公演の依頼を受け決定した後、非常事態宣言が発令された場合に、主催者が公演を強行すると決定された場合、我々の判断で公演を中止できない事態が発生した。
子育て支援・子どもの健全育成	家庭文庫の再開をめざしたい。・消毒・換気など人も予算もいる。・子どもたちも落ち着いた頃に開館したい(いつ頃がよいのか!?)。・備品として空気清浄機も考えている。・予約制をとる
子育て支援・子どもの健全育成	毎回消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスと注意しながら活動しているが、集まることも、集まってくる道中も含め、感染しないか不安はつきない。何かあった時の責任を感じることもしばしばです。
子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	家庭の事情が激変し、今までの活動に支障が出てきたメンバーがいて、今年度は(または当分の間)お休みとなった。

## Q6 コロナ禍でグループ運営上困っていること ― その他(自由記入)

活動内容	自由回答
子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	・世話人会や広報誌発送の会場確保に苦労した。・子ども参加の行事は感染防止に気を遣った。・行事の広報チラシを作ってしまうと、中止にするとムダになってしまふ。
障がい者支援	今年度は利用者さん方とお会いし、交流の場を持ち活動の向上を考えていたが、現状ではどうすることもできず、先日電話にて少し利用者さん方の様子をお聞きしてみました。やはり大変のようです。
障がい者支援	基本的にはメンバー宅での作業が中心の活動であるが、複数での作業が必須の工程や編集の方法などメンバー間での相談を細かくやらなければ進まない工程があり、作業が進まなくて困った。オンラインで打合せや相談はできることもあるが、作業はできないので工夫するにも限界があった。
障がい者支援	コロナ禍に見舞われて生活は一変し、個々人大なり小なり様々な影響を受けているが、ボランティア活動(点訳)に関して言えば、この1年で2つの再認識があった。1つはボランティア点訳は基本的に自宅作業が多いことにより、外出できないコロナ恐怖などいろんなストレスが少し緩和された。2つ目は、例会(メンバー間の)、コープ交流会、点レ連事業いかに大切なコミュニケーションの場であったかということ。例会(2020前半)がもてず、またコープ関連の交流会、点レ連事業などがすべて中止となったことにより少し孤独感も募り、モチベーション低下は否めなかった。やはり刺激がもらえ視野を広げる場所がいかにか大事だったか、ボランティアもひとりではできないことを改めて気づかせてくれた。
障がい者支援	活動後に職場や家庭への感染の心配があり、入会者が減少。そのため収入が減り、サークルの運営面が苦しくなっている。
障がい者支援	私たちの活動は高齢者の施設訪問なので、全くボランティア活動ができていないが、グループとしては楽器演奏の練習のため会場の使用ルールに従って(月2回)、メンバー間の交流は可能ため、グループ運営うまくすすめています。
障がい者支援	活動の依頼(対面朗読、訪問朗読etc)があっても、公共施設が閉館であったり、訪問先施設の許可が出なかったりした。今年は昨年できなかった音声訳者養成のための講座を開く予定にしているが、この感染拡大により開催が危ぶまれる。
障がい者支援	コロナ感染者が増えてくると、さすがに集まるのは控えましょうかとなる。会ってお話できないことは非常に辛い。
障がい者支援	メンバーが減少したことが大きいのですが、昨年やめられた方を含めた食事会ができず、長年一緒に苦楽を共にした思いを分かち合うことなくお別れしたのが心残りです。
障がい者支援	コロナ禍で3密を避けるための条件など、制約がある中で見合った場所(広さ、部屋代など)を確保することが大変でした。今年度は助成金の確保(2つの内、1つは外れました)も難しくなっています。早く元のような状況に戻れることを願うばかりです。
障がい者支援	障がい者の方達の外出や運動の機会が減った。・マラソン大会もほとんど中止になり、目標を失った方も多く焦りを感じているようだ。・「もっと歩きたい」「もっと走りたい」という思いが伝わってきます。練習会中止で十分に比べられない現状が辛いです。
障がい者支援、その他(点字・点訳活動の普及のための広報)	大勢集まることができないので交流会(視覚障がい者との)が開けない。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	イベント企画の活動について、一緒に企画してきた参加親子みんなの不安がなくならない限りは活動の再開は難しいと考えている。ただし、このコロナ禍はいつまで続くのか全く分からないため、見通しは立たない。Zoom活動はメンバー内の差があり、2021年3月で終了した。またフットサル活動は感染対策をした上で続けているが、活動後に感染者が出ないか大変心配なこともある。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、その他(ネットワークによる子ども・若者支援(※新たな活動))	計画してもコロナの状況によって中止せざるを得ないことが何回かあった。

## Q6 コロナ禍でグループ運営上困っていること ― その他(自由記入)

活動内容	自由回答
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	今までさせていただけたこと、やってこれたことも、コロナという状況の下でどのようにさせていただけるか、やっていけるかは…は状況を見ながら感じながら取り組んでいきたいと思っています。それぞれの家族も守りながら“今”できること、“今”元気になっていただけることを一つひとつ大切にしていこうと思っております。
障がい者支援、自助グループ	オンラインでの自助グループミーティングの機会を増やしたが、対面ではないため参加費をいただくことがむずかしく、オンラインは無料開催している。開催側の負担が大きいので対策を考えている。
障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり	活動依頼がデイサービスや福祉関係などから全くない。高齢者との接触がない。
障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり、その他(コミュニケーションの円滑化)	会員の中で感染を大変気にする人と、あまり気にしない人との差が大きく、チームワークが取りにくく感じている。体の不調を訴える人が出てきている。高齢化のためかも分からない。
地域の困りごと支援・まちづくり	高齢者を対象としているため、もし感染したら、させたらと不安が絶えずつきまとう。また病院への付添いも多く不安は大きいです。
地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術、環境活動	1. 地域福祉センターの恒例行事が中止され活動の場が減少している。2. コロナ収束の目途が立たず、イベント開催の計画が立てられない。
文化・芸術	コーヒー、菓子(手づくり菓子)で100円だったので、何もなく100円はいただきにくい。時間も短くなったので、募金箱を置いて募金として入れてもらっている。利用していた住宅の集会所で、私たちの活動が少なくなり収入が少なくなっていたので、集会所の運営のため今まで6時間1000円だったのが3時間ごと750円になり、演奏の準備や練習、片付けなどを入れるとどうしても1500円支払わねばならなくなり、活動が難しくなってきた。ふれあい食事会の時は20～30人ほどいて楽しかったのですが、今は10人前後で寂しい。でもみんなの楽しい歌声を聞くとがんばりたいと思う。
防災・減災	防災では保存食を食べてみたり、ビニール袋を使ったクッキングなど「食べる」ことで伝えることがある。コロナ禍では食べるのが難しい。
防災・減災、環境活動	市民環境活動では人と人が対面で接し、自然と触れ合う機会が必要です。Zoom利用で情報交換をすること、講演を聞くことも重要ですが、オンラインでは取り残される人が出てきます。インターネット、Eメール、Zoom、SNSなど情報通信に関しては年代格差が非常に大きいと感じる。
防災・減災、環境活動	自然が相手のボランティアなので、植樹活動地の下草が伸び放題で困っている。3～4月からはできるだけ活動で挽回しています。長いスパンで見たい。
その他(医療福祉、乳がん検診啓発)	出店するイベントがなくなった。ミーティングの開催も減り、イベントを計画するにも人数が集まらない。
その他(食事に来られる方へのカードづくり)	作成するメンバーも年配者となり、体調を整え合わせながらの中で、お休みされたりですが、何とか私たちも集まりの場としても頑張っていきたいと思っています。
その他(特養訪問)	メインの施設訪問がコロナが収まるまで無理だと思う。またゲーム作りなどもメンバーがそれぞれ高齢者をかかえており、感染を恐れてなかなか集まらない。手書き年賀状も各自家で書き、仕上げ(宛名など)を集まっていたが、できるだけ短時間で書こうとみんなで頑張った。
その他(病院内でのリハビリとしての折り紙)	病院での活動がなくなる可能性もあり、メンバーで話し合うこともこの先必要になるかも…当分現状をキープするのみです。

## Q6 コロナ禍でグループ運営上困っていること — その他(自由記入)

活動内容	自由回答
その他(福祉)	活動は月1回第2金曜日の14:00~15:30集会室に集まり、絵手紙を描いています。それぞれ各自家で描いたものを持ち寄ります。高齢・病気・遠方等の理由で来られない人はメール便で届けてくださいます。皆様が喜んでくださることを励みに、各自負担にならない程度に描いています。細々とですが、25年続いています。
環境活動	コロナウイルスについての対処の方法が分かり(密を避け、換気をよくしてマスクをつけ、ソーシャルディスタンスを取るなど)、戸外での活動なので続けてきたが、感染者が出ないか少し心配です。
環境活動	参加体験型学習会を行なっているので、ソーシャルディスタンスを保つのが難しい場合がある。アクリル板やフェイスシールドなど工夫はしているが、活動依頼場所(側)によってコロナ対策に対する考え方が違うので、どこまでこちらが要求してよいのか分からなくなる。教材・文房具などはその都度消毒はしているが、参加者の皆さんが不安に思っていないか心配している。
環境活動	自然相手の活動なのでましなほうであると思うが、マスクをつけることや三密を考え活動するようになってきている。それでも高齢者が多いので感染者が出ないか心配。
環境活動	メンバーの増強など前向きな活動に制約あり。
環境活動	家にいる時間が長いからでしょうか。例会日に参加する人が多くなった。これは大きなうれしい誤算でした。今までは10人前後でしたが、今は20人近くになった。体調悪くして辞められた方もいるが、入会者もあった。
環境活動	1. 各種自粛の要請がある中、実施して感染者が出た場合の責任の取り方など不安を感じながら活動した。 2. 棚田が約600坪あり、常時手入れしなければ荒地となるため活動せざるを得ないのが実情です(活動地を借地している責任もある) 3. ボランティアでは「怪我と弁当は自分持ち」では会員の納得が得られないという不安が大きい。 4. 活動の見込みが少ないため、財政支援の企業が少ない。
	活動場所の変更も考慮しなければならないですが、借用している会場は広く、参加者の人数に合わせて机・椅子の設置に融通が利くところが便利である。このような場所が見当たらない。緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が解除され、早く以前のように活動ができるとうれしい。
	メンバーの力量以上に活動領域を広げすぎたので、整理できることはしていきたい。

Q7 支援してほしいこと(自由記入)

活動内容	自由回答
居場所づくり	毎回コープの集会場をお借りして開催しており、ありがたく思っている。支援してほしいことは特にない。
居場所づくり	ともしび通信などでコロナ禍で工夫されて活動している事例や新しい活動に変更したグループなどの様子を載せてほしい。
居場所づくり	カフェをしているので以前はバリスタで提供していた。今はペットボトルに変更したので案外値がはり、収支はマイナスになる。参加者も少し減っている。もう少し助成金を増やしていただければありがたい。
居場所づくり	消毒剤などの購入資金。インターネット回線のためのWi-Fi利用料金支援、インターネットの使い方の講師派遣。
居場所づくり	現在十分支援をしていただいております。
居場所づくり	コロナ収束が見えずまたもや感染拡大の中、不便を感じつつもコープの環境の中、活動できて感謝しています。辛抱しながらでも皆様に元気をお届けできる活動はしていきたいです。
居場所づくり	助成金をいただけてありがとうございます。
居場所づくり	収入が全くない活動もあるため、会場代を補助していただけたらありがたい。またコロナによって参加者が減って、会場代・講師謝礼金が捻出できないイベントもあるので、コロナが収まるまで援助していただけると助かる。
居場所づくり	①感染の波が繰り返されるたび休止せざるを得ない。その打開策としてリモート開催にチャレンジしてきた。仲間や知人の力を借りてZoomアカウントを利用して実施しているが、個人や団体会員でアカウント(時間制限なしのZoomプロ)をとることは難しいので、ボランティア登録団体向けのアカウントを開設してもらって、利用料金を都度負担できるようなシステムがほしい(社協やコープなどに)。②通常経費となる茶菓子代や謝礼などは助成金対象とならないことが多いから、コロナ禍で地域活動するには期間限定で助成してもらえると助かる。
居場所づくり	このままですと、運営収入が減少し、参加者が増えなければ会費の値上げも考慮に入れなければならない。次回からは「きりり助成」から「ともしび助成」に申請変更をお願いすることになるかもしれない。
居場所づくり	参加費100円での開催で24名のみのため、いろいろなイベントのための謝金の支払いが大変苦しい状況です。今まで何とかお礼ができたが、この状況が続くとどうなるか心配。
居場所づくり	映画会を催したいので、DVDがあれば借りたい。
居場所づくり	助成金のご交付大変助かっています。ありがとうございます。
居場所づくり	私たちの活動(高齢者の方に電話する)に理解を深めてもらえるように、広く知らせるための援助をしていただくことができたらと思う。
居場所づくり、その他(認知症の方、介護者の相談場所)	水道光熱費や借料に助成金を利用させてもらえれば活動内容の充実に充てられるとも考えられる。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	・オンラインの講座の費用も対象としてほしい。・ボランティアとはいえ負担が多く、無償ボランティアではなかなか大変なことも多いので、補助金の1割でも管理費という項目があればうれしい。コロナでお弁当の収入がなく、光熱費などの維持費も出ない状況です。光熱費なども上限を設けていっくらか支援していただけたらと思う。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	今までの貸し出し日を週に4日を当てていたが、新店舗では複数のグループの居場所、いこいの場となる。子ども用絵本、大人の絵本を一緒にして「まちライブラリー」形式での貸し出しをしていく予定である。これと同時にメンバーのスキルアップや個性、得意とすることを特徴づけていければと思っているので、広報として支援していただけたらと思う。(店舗内にはお知らせボードみたいなものには予告やお知らせしていく)

居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成	近くにシェア畑を借りて、子どもと一緒に土づくりをしたり、野菜の栽培・収穫をしたりしています。自然(土・風・太陽・水)に触れ、体を動かし体験することは心身ともにより影響を与えていると感じています。(対象外ではありますが、対象内のもので余裕があればそちらにまわせるので)・子どもの参加者が増えれば、それぞれのニーズに合わせたイベント・企画・学習支援などを行ないたいので、それらに対しての講師・ボランティアの紹介などをお願いしたいです。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、自助グループ	・来年度(2021年度)は事業収入を得ていく方法を考えたいと思う。・各団体グループのPR(多くの方にボランティア団体の存在を知って参加してもらう目的)、コープこうべの情報誌などにグループ紹介を積極的に行なっていただき、1つずつグループ紹介コーナーで広報してもらいたい。・自立できる団体・グループ育成のためのセミナーや実際の支援。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	子どもたちの参加するイベントなどでボランティアしたいので紹介してほしい。また高齢者のイベントも参加したい。1年を通して季節の花や行事など、題材はいろいろある。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	図書の購入費の支援がほしい。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	地域親子が遠出をしないからか、文庫来訪者が増えた。大きなイベントはできないが、小さなイベント的なプログラムを考えている。自立型のシールド購入を考えている。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	コープこうべ様との連携がもう少しできるようであればSDGsの活動にフォーカスした目的をPRしたり、認知してもらえると、利用者の方も安心できたり協同感が高まるように思えます。高齢者をどう見守るか、また地域活動を一緒にさせていただくことで子育て世代を取り込み、コープの需要を高める活動にもつながると考える。
居場所づくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動、その他(避難者支援交流及び相談)	避難後、孤立の大変さを身になって知っているので、少しでもつながりを絶やさないよう支援していただきたい。
居場所づくり、障がい者支援	フェイスシールド、マスクシールドは会員の個人購入であるのでサークルから配布できるようにしたい。聴覚障がい者の人にとってサークルは居場所づくりであると思うが、集まる場所がないのが一番困っている(福祉センターの利用不可や人数制限など)。
居場所づくり、障がい者支援	難聴者の集まりのため、市民活動交流会や助成説明会に参加したいが、聞こえづらく…、要約筆記者の派遣がお願いできれば助かります。現在代表である私もマスク着用下では聞き取りづらい状況のためよろしく願いいたします。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	2021年度も助成いただきありがとうございました。向こう1年の活動に対して、手探りで申請書記入しましたが、いまだコロナ終息の見通しは立たずで、経費の使い方をコロナ対応で柔軟にお考えいただけたら幸いです。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、その他(不登校の子どもたち支援)	今回助成金をいただけることになり活動を継続して行なうことができます。心より感謝します。日頃よりコープさんには物品(食料品等)をご支援いただいております。もし可能であれば開催日前日に、お肉など近くのお店で余ったのがあればいただけるとありがたい(なかなかお肉使えませんので)。
居場所づくり、障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	①オンライン用の機材を準備するためにはきり助成では不足する。さりとて、ともしび助成はハードルが高い。特別用途への補助金がほしい。②私たちはオンラインで音楽を提供できるので、コープともしび財団さんがオンラインで活動しているボランティアグループを取りまとめてオンライン配信していただくなど、宣伝に力を貸していただければ、必要とされている対象者が広がりボランティアグループの活動も活性化するのは？



居場所づくり、障がい者支援、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活動	1. 令和3年度も小学校1年生2クラス(60人)と1年生2クラス(54人)から手づくりおもちゃの依頼があると思います。ボーイスカウトの方々、グループと地域の方(婦人部など)、そして今年度はPTAの方々と一緒に協力して生徒たちに喜んでもらえるようにしたいと思います。取りまとめは小学校のコーディネーターにお願いしたいと思います。2. 毎年助成金をいただきありがとうございます。大切にに使わせていただきます。今後ともよろしくお願ひいたします。
居場所づくり、障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり、環境活動	2020年度は外部からの活動依頼が少なかったため、今年度は増えてほしいと思っている。そのため、私たちの活動を多くの方に知ってもらえるように支援していただけると嬉しい。
居場所づくり、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	広報をしてほしい。チラシをデータから作成するのですが、このようなミニ講座があると助かる。グーグルフォーマットの利用の仕方、イラストレーターのようなアプリを教えてください、集客を伸ばしていきたい。また活動アドバイザーがいて、いつもメールとかでも相談できるサポートシステムがほしい。
居場所づくり、多文化共生・外国人支援、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	コロナ禍においては、お弁当の提供、フードパントリーを行なっている。なかなか計画通りには進まないが、コロナが落ち着き、これまで通りの子ども食堂が1日も早くできることを願う。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり	私たちの活動をアピールしてほしい。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり	根本的には資金的不安が最も大きいです。メンバー若返りの秘策があれば。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	クッキングの時の食材などの支援があるとありがたい。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	参加者は小さなお子さんの子育てをしている親子が主です。お子さんは動きまわるためソーシャルディスタンスの確保やマスク着用も不可能です。どこまで感染対策をすべきか、また開催の可否の判断に他の団体の方はどうされているのか、科学的根拠など情報がいただけたら助かります。
居場所づくり、地域の困りごと支援・まちづくり、子育て支援・子どもの健全育成	コロナ禍の中、地域で共同して活動するイベントを考え、グループ共同開催で活動の中で交流できることをぜひ何か？
子育て支援・子どもの健全育成	オンラインツールの紹介をしてほしい(どのツールがよく利用されているのか！?)。大丈夫ですよというシンボルマークなど考えてほしい。密ではない、消毒しているなど対面の利用者が安心していただけるような仕組みづくり。
子育て支援・子どもの健全育成	昨年の今頃は本来の活動(絵本、遊具づくり)以外にマスクを作っていました。今年は絵本、遊具の他、防災頭巾を作りためて寄贈したいと考えているが、材料費(布はあるが、止める金具が必要)が心配です。
子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	昨年度、コロナ禍においても感染対策をしっかり講じていれば公演を実施することは可能だったので、公演の場・回数を回復したいと願っておりますので、多方面に紹介していただければありがたい。
子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術	団体内でのクラスターを防ぐため、感染対策に力を入れています。活動の際の除菌のためのスプレーやウェットティッシュなど感染対策にかかるお金への支援があるとうれしいです。会場側からの貸し出しもありますが、足りなかったり、使いにくいこともあります。また、ボランティア団体内でのコロナ感染対策の勉強会などあればいいなと思っています。
子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災	自立した団体になるための資金集めなどの講習やイベントなどがあると大変ありがたい。
子育て支援・子どもの健全育成、防災・減災、環境活	集まる場所がなくなるときに会場を貸してほしい。

障がい者支援	視覚障がい者が得られる情報の範囲は限られており、点字や耳からのみである。障がい者に少しでも役立てばとコロナ予防対策などを点訳して提供している。この情報を利用者の方が他の人にもまわして喜ばれたと言われた。このように情報の共有ができる横とのつながりがあると、もっといろいろなものが提供できるのではと思っている。
障がい者支援	今は特にないが、家庭料理研究会のメンバーが作られたレシピを元に活動している。以前拡大本を見てもらったように思うが、このような形で視覚障害の方にお届けしていることを知っていただきたいと新しいメンバーの方々が言われている。
障がい者支援	いろいろなボランティア活動、高齢者の多いグループなどもあり(茶会、給食)、活動ができない、制約を余儀なくされる活動が多いと思いますが、これからは新しいやり方で試行錯誤、模索しながら活動が続けられたらいいなあと思います。点訳需要が多い中、助成金は命綱です。これからもよろしくお願いします。
障がい者支援	・活動場所で使用する消毒液や飛沫防止用アクリル製パーテーション、体温計など備品の設置。・公共施設を利用しているが、会場費の減額。
障がい者支援	このコロナ禍にあって、これからはズーム、オンラインなどによる朗読の提供を考えていく必要を感じます。そのための機器も必要になってくると思う。
障がい者支援	コロナ感染拡大で集まれないとき、他のグループの方々はどのように活動されておられましたか？教えてほしいです。
障がい者支援	会費収入が減ったこと、市からの助成金が今後減額(いずれなくなる)する可能性があるとのことなので、これからも継続した支援をよろしくお願いします。
障がい者支援、その他(点字・点訳活動の普及のための広報)	引き続き印刷できる日(お部屋を借りれる日)を増設していただけると非常に助かります。通常であればすでに昨年度のうちに印刷完了・発送できているものが現時点で半分ほどしか終わっていない。もちろん他にも印刷物が増え続けています。こんな状況でも活動できていること、お部屋を貸していただいていること、とても感謝している。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	とてもおこがましいことを申し上げるが、いつかイベント企画を再開する時に、参加者が安心して共に取り組むことができるよう、また地域の方が安心して参加できるよう見守ってくださるよう、当団体のように任意団体で始まり立てのまだ地域の人々に知られていない(信頼が低い)が、コロナ禍でも不安がありつつも取り組む団体を応援して下さるコープともしびさんのステッカーのような印がほしい。もちろん取り組む私たちは参加者や地域の人々に安心・信頼していただけるように続けます。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	助成金を使ってメンバー間の郵送料は許可されていませんね。OG会員との連絡用に使わせていただいているが、メンバー間の郵送料を認めていただけたらとてもありがたいです。ご検討ください。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成	「語り」や「本」を伝え身近に与えてあげたいという想いで文庫を開催しています。明るく元気な笑顔で親と子が向き合える環境づくりをめざします。折り紙遊びは子どもたちも親も高齢者も大好きです。作品を作り帰るとき笑顔がすばらしいです。その持ち帰る材料費は対象にならないのではなく、金額も少しですし、使う材料も家にあるものなどを利用しているので助成金の対象にさせていただきたいです。今年もいただいた助成金を有効に使わせていただきます。ありがとうございました。
障がい者支援、子育て支援・子どもの健全育成、文化・芸術、その他(高齢者施設訪問)	年間10回以上の活動は難しいように思われる。少ない活動でもご支援をいただけたら幸いです。
障がい者支援、自助グループ	皆様のやり方の工夫やお知恵をお伺いできるとうれしい。
障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり	ボランティア人数が全く増えないため、歌レク体操の講習会や発表の場所がほしい。全くのボランティアではなくある程度有料化にしてほしい。

障がい者支援、地域の困りごと支援・まちづくり、その他(コミュニケーションの円滑化)	オンラインやリアルでのスマホ・インターネットを活用した講座をハイブリッドで体験できるように、Wi-Fi環境整備に力を入れてほしい。地域の公民館や公共施設ではまだまだ十分でない。これは行政の問題だと思うが、ともしび財団としても働きかけてほしい。
多文化共生・外国人支援	コロナ禍で助成金の募集が中止になったり減額されており、活動が厳しくなってきた。落ち着くまでよいので臨時的助成金を創設してほしい。こうして声を聞いてくださりありがとうございます。
多文化共生・外国人支援、文化・芸術	調理や飲食を伴う非営利活動の実施状況や安全性、感染リスクなどのエビデンスや統計のサイトなど(兵庫県でも全国でも)があればご紹介いただきたい。実行されている人の話を聞きたい。
地域の困りごと支援・まちづくり、環境活動	自助努力で乗り切りたい。
防災・減災	コロナウイルスに対する正しい知識と活動するにあたっての注意点や対処について学べる場がほしい。
防災・減災、環境活動	活動の可否を決めるときの判断基準を他のグループにお聞きしたい。
その他(医療福祉、乳がん検診啓発)	事業収入、募金がイベントがなくなったために減った。寄付金依頼をするにも、事業にあえいでいる企業が多く期待薄。継続しての助成金支援をお願いしたい。
その他(高齢者福祉)	ご協力していただいているが、中細毛糸が手に入りにくくなっている。手元に御不要・御使用済の毛糸がございましたらゆずっていただけたら助かります。どうぞよろしくお願いいたします。
その他(病院内でのリハビリとしての折り紙)	ボランティアとしての活動を全くしていないが、支援については会議室を借りられるだけで助かっている。ありがとうございます。
環境活動	メンバーの皆さんの構成が高齢化しないよう10年先、20年先も続くよう住民の方々を巻き込んでいくにはどうしたらいいのか、ヒントがあれば教えていただきたいと思う。
環境活動	消毒薬やアクリル板など支援していただけると助かる。
環境活動	環境保全活動として花壇のメンテナンスが主作業だが、活動の継続には近隣の方々の協力が不可欠です。近隣の方々に協力してもらえそうなメンバーの集め方について悩んでいる。
環境活動	1. 学校(小中学)の依頼が少なくなり、環境体験学習のサポート、指導を中心に行っているクラブとしては財政支援を依頼しにくい。 2. 上記理由がどうか不採択となり、資金的に運営が厳しいのが実態です。「何とか…」と思いながら近いうちに新しい展開が来るのを心配しています。
	再開可能となれば、グループ情報の登録をお願いしたい。